

事後評価書

箇所名	城南地区		事業名	湛水防除事業		課名	農業基盤整備課	
事業概要	工期 (下段当初)*	平成5年～平成19年	全体事業費 (下段当初)*	2,716百万円 (負担率: 国50: 県35: 他15)				
		平成5年～平成19年		2,919百万円 (負担率: 国50: 県35: 他15)				
事業目的及び内容		<p>【事業目的】</p> <p>当地区は、揖斐川と員弁川に挟まれた河口部に位置する輪中地域で、海拔-2.0～-0.5mの低湿地地帯であり、本地域の排水は、桑名市城南排水機場と国土交通省城南排水機場により揖斐川に排水されている。しかし、桑名市城南排水機場は老朽化が著しく、地盤沈下の影響もあって、ポンプの吸い上げる高さが増えることで、ポンプの排水量が減少し、排水状況が悪化している状況であった。さらに当該受益地となる農振地域内の湛水は、都市排水を対象とする国土交通省城南排水機場による排水では対応しきれず、桑名市排水機場の能力の低下の影響もあり、大雨が降れば大規模な湛水状況となっていた。このような状況に対応するために、桑名市城南排水機場を更新し、農業経営の確立と高度利用を図るものである。</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城南排水機場 <li style="padding-left: 20px;">機場工 φ1200mm×3台 						
1・事業の効果		<p>【費用対効果分析】 (S63 [改訂] 解説 土地改良の経済効果より)</p> <p>H15再評価時投資効率 = 1.09</p> <p>完了後現在の投資効率 = 1.19</p> <p>【効果の検証】</p> <p>アンケート結果から、事業完了後の降雨に対しては、被害がありませんでした。</p>						
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・工事の際には濁水対策を行い、周囲の環境に十分配慮しました。 ・アンケート結果からも事業実施前後の自然環境は大きく変わっていないことが伺えます。 						

3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

・本地区における認定農業者数と農地集積化率は増加傾向にあります。

	平成5年	平成22年	平成25年
認定農業者数	0人	5人	7人
農地集積化率	0%	8.8%	18.6%

(桑名市への聞き取りによる)

4・県民の意見

○アンケート調査内容

排水機場を更新した9地区（立田地区、大平地区、福岡町地区、大貝須地区、萱町地区、福江地区、小泉地区-1、小泉地区-2、福地地区）の住民186戸に対して配布しました。

質問事項は1.居住地 2.農業をしているか 3.事業の認知度 4.農地冠水被害の有無 5.農地被害の状況 6.農業施設被害の状況 7.農業面での効果 8.住居被害の有無 9.農業面以外の効果 10.周辺環境への影響 11.その他の意見の11項目です。

○調査結果

農家95戸、非農家60戸の155戸から返信がありました。（回収率83.3%）

- ・Q2. 農業をしているかは、兼業農家（農業収入副）が52%ともっとも多かったです。
- ・Q3. 事業の認知度は比較的認知されています。（68%）
- ・Q4. 農地冠水の有無については、全体の3%の方が有との回答でした
- ・Q5. 作物等に一部被害があった。という回答がありました。
- ・Q6. 農業施設への被害はありませんでした。
- ・Q7. 農業面での効果は、全体のうち37人の方に、「農道や用・排水路の維持管理が楽になった」回答をいただき、全体的に良くなったという回答をいただきました。
- ・Q8. 住居への被害はありませんでした。
- ・Q9. 農業以外の効果は、「排水が良くなった」「安全・安心感が増した」と回答いただきました。
- ・Q10. 周辺環境への影響については、全体うちの78人の方は、影響を指摘されませんでした。
- ・Q11. その他の意見については以下のとおりです。
 - ・湛水防除事業のアピールが必要。
 - ・湛水防除事業により衛生的になった。
 - ・広島のような大雨の場合、桑名市は大丈夫か。
 - ・湛水防除事業に対する周知不足。

5・再評価の経緯

平成15年度第3回三重県公共事業再評価審査委員会において、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承されました。

6・今後の課題等

○事業実施における課題

南海トラフ地震発生の可能性が高まっており、排水機場の耐震化が必要です。

